

地域の魅力が集まる拠点づくり

— 「道の駅」による地方創生 —



いばらきの「道の駅」の状況

- ◆登録数:13駅(事業中含む)
- ◆利用者数:約450万人(H26)
- ◆売上額:約49億円(H26)
- ◆被雇用者数:300人超
- ◆契約生産者数:1,200人超

いばらきの特色ある「道の駅」

みわ

- ・周辺にスーパー等がないため、買い物の場として地元住民の生活を支えるとともに、生産者にとっても野菜等を出荷する貴重な場所であり、地産地消の促進に寄与!
- ・地元小学生の絵画展など、地元に着したイベント開催による地域交流の場を創出!



朝取り野菜を陳列する生産者



作品展などによる交流促進

地域の特色に合わせた様々な取組みにより、経済の活性化や住民サービスの向上に寄与!

日立おさかなセンター

- ・地元漁協で水揚げした水産物(地域ブランド品)の販売拡充!
- ・日立BRTによる駅を併設し、交通結節点として活用!



地元水産物の活性化



地域連携に寄与する日立BRTの運行

いたこ

- ・インバウンド観光への対応として道の駅として県内初の免税店!
- ・高齢者などの交通弱者への支援策として無料送迎バスを運営!



外国人観光客が多い鹿島神宮からの誘客促進



道の駅自らが無料送迎バスを運営

かつら

- ・道の駅ネットショップの開設と併せ、HPで地元生産者を紹介するなど、特産品の販路拡大へ!
- ・那珂川を活用したハイキングイベントを実施するなど交流機会を創出!



生産者紹介ページによる安心感の提供



那珂川を活かしたイベント開催

重点「道の駅」

地域の魅力を集約し、「道の駅」を地方創生を進めるための『小さな拠点』へ

ひたちおおた

H28年7月供用予定!



・産業振興!

多品種トマトハウスでの摘取り体験



・新規就農者の確保から定住促進へ!

体験ほ場等を活かし農業者等養成専門学校の新卒者や定年帰農者への研修会の開催



・安心・安全の提供!

災害時の防災拠点として活用するため災害用井戸や防災トイレ、ヘリポートなどの整備



常陸大宮



▲3月25日にオープンした「道の駅常陸大宮」=常陸大宮市岩崎

「道の駅常陸大宮」(愛称「かわプラザ」)は3月25日にオープン、生産量の少ない洋野菜の地産地消やブランド化などで、国の重点道の駅にも選ばれました。付加価値の高い洋野菜は直売所で販売するほか、レストランメニューとしても取り入れられます。まずは来場者に食べてもらい、興味をもってもらうことから始めます。付加価値をどう伝えていくか、来場者の価値観と合っているか、共感をもってもらうことが大事です。また、体験農場も充実させ、野菜や果実の摘み取り体験を通して、生産者との交流を図ります。茨城大学生と連携し、市の魅力体験企画も行います。一緒に誘客に努め、市の知名度をアップしたい。

地方創生、道の駅 若い力で地域の魅力を 創造・発信



道の駅常陸大宮 駅長 遠藤 修平氏

市最大の観光施設
地域の魅力引き出す